

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子

発行者：校長 岡田 達也



えがお かがやき がんばる 学校 困うえんだん「チーム北川」～

## 後期時間割 開始 いよいよ折り返し!

本校では、時間割を前期と後期に分けて編成しています。本年度の後期時間割を今日から開始しました。本年度も折り返し地点、前半の成果と課題を踏まえて、後半の学校生活がより充実した日々となるよう、私たち教職員も決意を新たにしています。

併せて、児童会役員も前期役員から後期へとバトンタッチするため、朝会の場で役員の引き継ぎを行いました。前期の会長1名、副会長2名、黒板書記1名、ノート書記1名の計5名の子どもたちは、前半の学校行事等を中心に全校を上手にリードしてくれました。後期役員はそれを引き継ぐだけではなく、これまで以上に学校生活を楽しくしたい旨の決意を語ってくれました。頼もしい限りです。

また、その後の朝の会で、学級目標を子どもたち自身に自己評価させている学級もありました。子ども一人一人が、そして学級集団が学級目標を実現するよう、意識を高めていくことは大切なことです。ちょっとしたことですが、自主性（自分のすべきことを進んでする力）を育てることにもつながります。

私たち教職員も、少しでも子どもたちに確かな力をつけることができるよう、あきらめることなく、気持ちを引き締めてがんばりたいと思っています。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



## 子どもたちのがんばりを「見える化」!

学校では、子どもたち一人一人、学級集団としての目標を持って学校生活を送ることができるようにしています。目標を達成させるためには、次の手立てが必要です。

- ①常に目標を意識させること。
- ②機会あるごとに目標に対する達成状況を振り返らせること。
- ③そして、できている点やできていない点を具体的に捉えさせ、どうすればできるようになるのかを個々に把握させる。
- ④友達同士で励まし合ったり、がんばりを認め合ったりさせる。
- ⑤併せて、教師の励ましや評価（称揚したり、アドバイスしたりすること）を行い、がんばろうという意欲を持続させる。

そこで、後半は全校のがんばりを「見える化」することにしました。具体的には、生徒指導主事が月目標の達成状況（反省の祭に「できた」と自己評価した子の人数）を子どもたちに提示し指導するとともに、校内に掲示していきます。9月の生活目標「あいさつをしよう 誰にでも 大きな声で」の達成状況については、123名中108名の子ができたとして自己評価しました。これは、約88%の達成率となります。子どもたちの自己評価ですが、一つの目安にはなるとおもいます。今後も、あいさつの質を高める指導を継続していきます。

10月は、「廊下は歩こう 右側を静かに 階段は一步步」です。がんばって達成してほしいと思います。ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただき、一言励ましをかけていただければと思います。子どもたちの意欲も高まると思います。どうぞよろしくお願いいたします。「できる」ことが増え、みんなからほめられたり、認められたりすることで、自信が育まれていきます。

